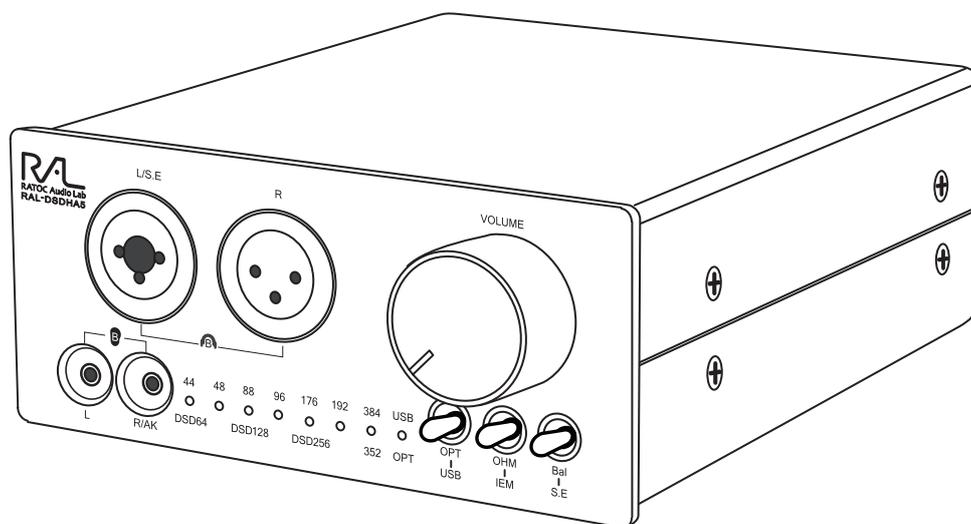


DSD256 対応
フルバランス ヘッドホンアンプ
RAL-DSDHA5

ステップアップガイド
DSD 音源再生マニュアル

2016年2月
第1.0版



ラトックシステム株式会社

RATOC Systems, Inc.

【Windows PC、Mac ステップアップガイド】

PCM 音源 Windows PC 編

- 1 再生ソフトと転送方式の選択 3
- 2 カーネルミキサーのバイパス 4
- 3 ビットレート / サンプルレートの設定 6

PCM 音源 Mac 編

- 4 再生ソフトとドライバーの選択 8
- 5 ビットレート / サンプルレートの設定 8

【DSD フォーマットの再生設定】

DSD 音源 Windows PC 編

[foobar2000 で再生する]

- 6 再生ソフトとファイル形式について 9
 - 1. foobar2000 のダウンロード 9
 - 2. foobar2000 のインストール 10
- 7 コンポーネントの追加 13
 - 1. foo_out_asio の追加 13
 - 2. foo_input_sacd の追加 16
- 8 foobar2000 の設定 18
 - foobar2000 の WASAPI 出力設定 23

[JRiver Media Center で再生する]

- 9 再生ソフトとファイル形式について 25
- 10 再生ソフトの購入 25
- 11 日本語に表記を変更する 26
- 12 JRiver Media Center の再生設定 27
- 13 JRiver Media Center に音楽データを追加する 29

DSD 音源 Mac 編

[Audirvana Plus で再生する]

- 14 再生ソフトとファイル形式について 31
- 15 再生ソフトの購入 31
- 16 Audirvana Plus の再生設定 32

Windows PC、Mac ステップアップガイド

ここでは、パソコンに保存された音楽ファイルをより高音質で再生するための設定を説明します。Windows PC をご使用の場合は、本製品添付のユーザーズマニュアル 7 ページ “パソコン接続 / インストール編” にてセットアップ後にご覧ください。DSD 音源のネイティブ再生、および PCM・384kHz のハイレゾ音源を再生する場合は、本ステップアップガイド 9 ページ「DSD フォーマットの再生設定」をご参照ください。

PCM 音源 Windows PC 編

1 再生ソフトウェアと転送方式の選択

RAL-DSDHA5 は Windows 10/8.1/7 に対応していますが、再生ソフトと転送方式の組み合わせにより再生できない場合があります。下記の表は、音楽再生ソフト：iTunes/Windows Media Player (以降 WMP) /foobar2000、転送方式：Direct Sound/WASAPI/REX ASIO Driver を例として一覧表記しています。お客様のパソコン環境と照らし合わせて再生ソフト / 転送方式を選んでください。

再生ソフト	転送方式		
	Direct Sound	WASAPI	RAL USB Audio ASIO Driver
iTunes	○	○※3	×
WMP	—※2	—	×
foobar2000※1	○	○※4	○

※1 英語表記のため、日本語表記にするには日本語化ツールをダウンロードする必要があります。

※2 Windows Media Player は、出力を変更することができません。

※3 iTunes は Windows 10/8.1/7 の環境で WASAPI 排他モードに対応していません。共有モードのみ使用できますが、音質の向上は見込めません。

※4 4 ページ「**2** カーネルミキサーのバイパス」にて詳しく設定方法の説明があります。

※ Windows OS のサウンド設定では DSD 音源、PCM・384kHz のサンプルレートを設定 / 再生することができません。

DSD 音源をネイティブ再生する場合は、9 ページ「DSD フォーマットの再生設定」をご参照ください。

PCM・352.8kHz/384kHz の音源を再生する場合は、23 ページ「foobar2000 の WASAPI 出力設定」をご参照ください。

◆ Direct Sound

Windows 標準のオーディオ転送方式。カーネルミキサーを経由して出力されます。通常 USB オーディオアダプターなどを接続した際に動作します。Direct Sound 使用時の設定は 6 ページ 「**3** ビットレート / サンプルレートの設定」をご参照ください。

◆ WASAPI

Windows OS に搭載されるカーネルミキサーをバイパスできる機能。WASAPI 使用時の設定は 4 ページ 「**2** カーネルミキサーのバイパス」をご参照ください。

◆ RAL USB Audio ASIO Driver

当社製 USB オーディオ機器専用の ASIO 対応ドライバー。遅延が少なく、カーネルミキサーをバイパスできます。

※ RAL-DSDHA5 専用ドライバーをインストールすると、同時にインストールされます。

※RAL USB Audio ASIO Driver を使用して再生する場合は、13 ページ「**7**-1.foo_out_asio の追加」をご参照ください。

2 カーネルミキサーのバイパス

通常の設定では、Windows パソコンで再生されたデータはカーネルミキサーを経由して USB オーディオより転送されますが、カーネルミキサーを回避することにより音質向上が見込まれます。また、384kHz の音源はカーネルミキサー経由で再生することができません。

ここではカーネルミキサーをバイパスし、信号経路を短縮して再生する設定方法を説明します。

※ RAL USB Audio ASIO Driver を使用して再生する場合は、13 ページの「**7**-1.foo_out_asio の追加」をご参照ください。

【例：foobar2000 の設定をおこなう場合】

※例は Windows 10 の画面です。Windows 8.1/7 では画面が若干異なります。

あらかじめ、下記のアプリケーションをご準備（ダウンロード）ください。

◆ 音楽再生ソフト

foobar2000

【<http://www.foobar2000.org/download>】

→当社ホームページ ステップアップガイドの“foobar2000 のダウンロード”をご参照ください。

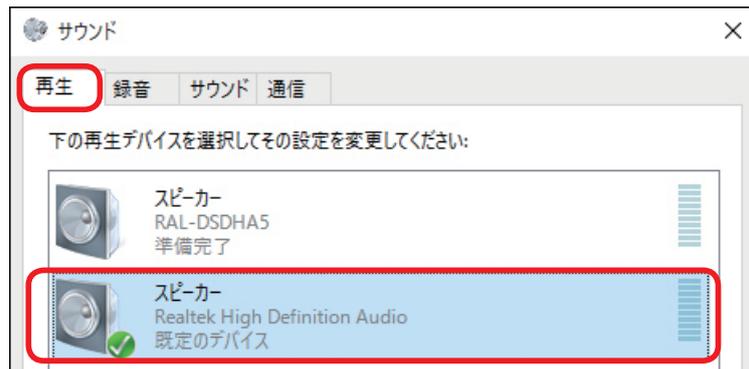
◆ foobar2000 用 WASAPI 再生コンポーネント

foo_out_wasapi.fb2k-component

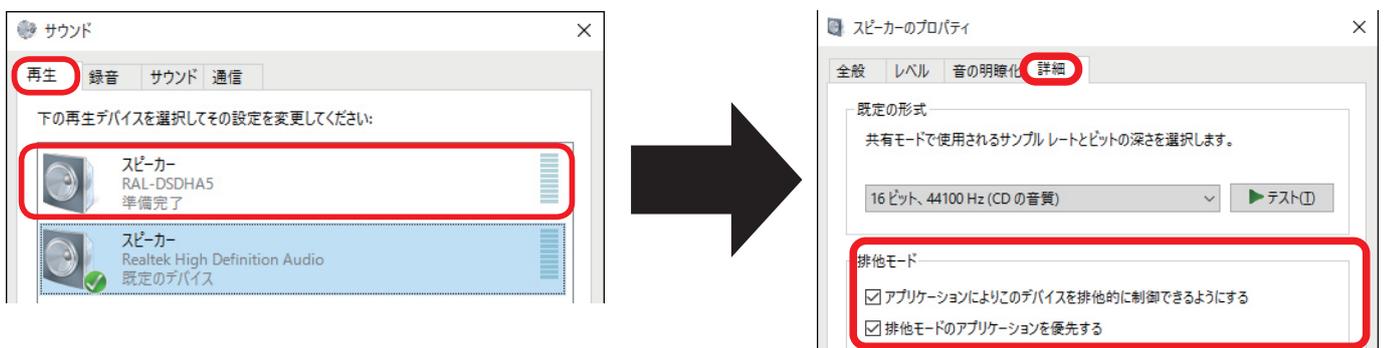
【<http://www.foobar2000.org/components>】

→ WASAPI 出力コンポーネントのダウンロードとインストールの詳細については 23 ページ “foobar2000 の WASAPI 出力設定”をご参照ください。

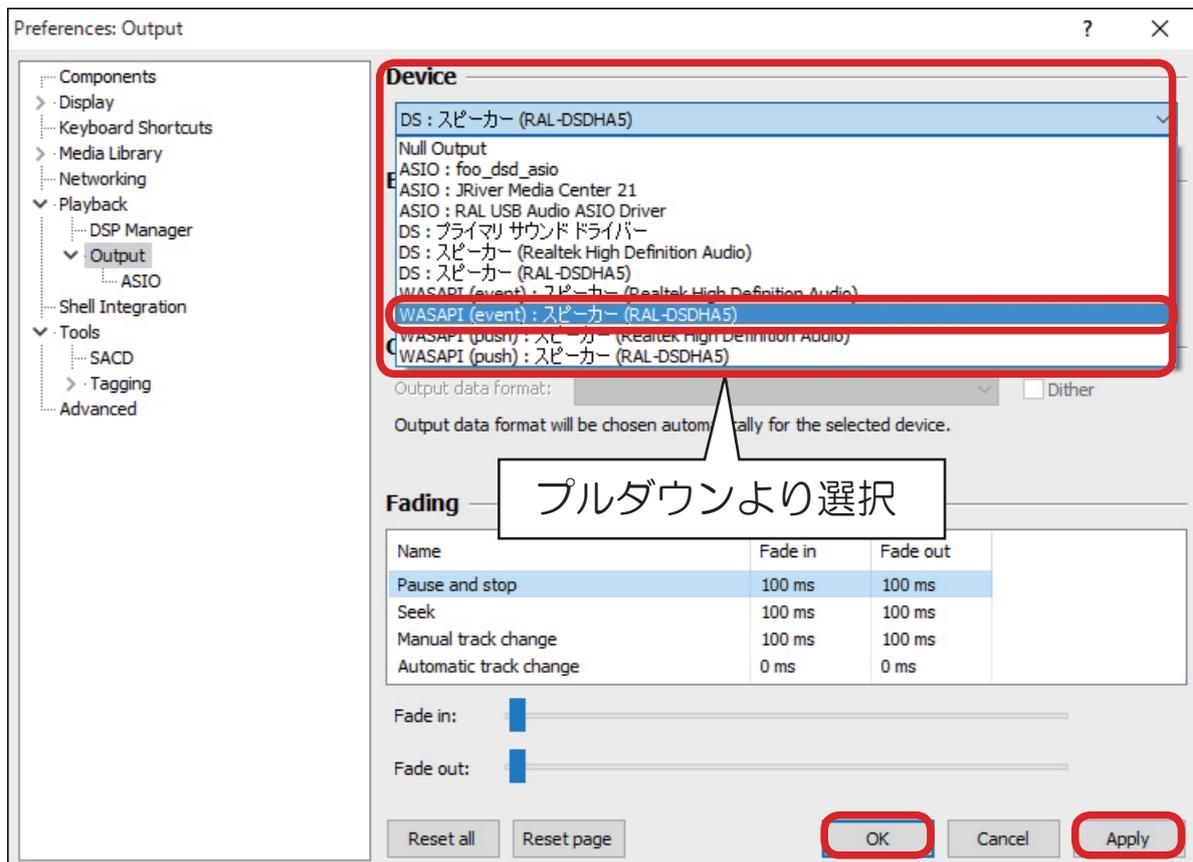
1. 【スタート】⇒【コントロールパネル】⇒【ハードウェアとサウンド】⇒【サウンド】をクリックし、【再生】タブで再生デバイスをパソコン内蔵スピーカーに変更します。



2. “RAL-DSDHA5” をダブルクリックし、【詳細】タブ内 “排他モード” の2項目にチェックが入っていることを確認します。



3. foobar2000 を起動します。【File】⇒【Preferences】⇒【out put】の “Device” から “WASAPI (event) : スピーカー (RAL-DSDHA5)” を選択し、【Apply】⇒【OK】をクリックしてください。



以上で設定は終了です。

3 ビットレート / サンプルレートの設定

サンプルレート / ビットレートの変更設定をおこないます。格納された音楽ファイルの再生ビットレート / サンプルレートをシステムによる変換から回避し、音楽ファイルとの同一性を保ちます。ハイレゾ音源などを出力する場合は、以下の設定をおこなってください。

※ ASIO ドライバー / WASAPI 排他モード再生などカーネルミキサーをバイパス設定している場合、ここでの設定は反映されません。

(iTunes と WASAPI との組み合わせで使用している場合は共有モードのため、設定が必要です。)

※例は Windows 10 の画面です。Windows 8.1/7 では画面が若干異なります。

1. コントロールパネルを開きます。

【Windows 10/8.1 の場合】

- ① スタート画面の【デスクトップ】をクリックし、デスクトップ画面を開きます。
- ② 画面左下の【スタート】を右クリックし、【コントロールパネル】をクリックします。

【Windows 7 の場合】

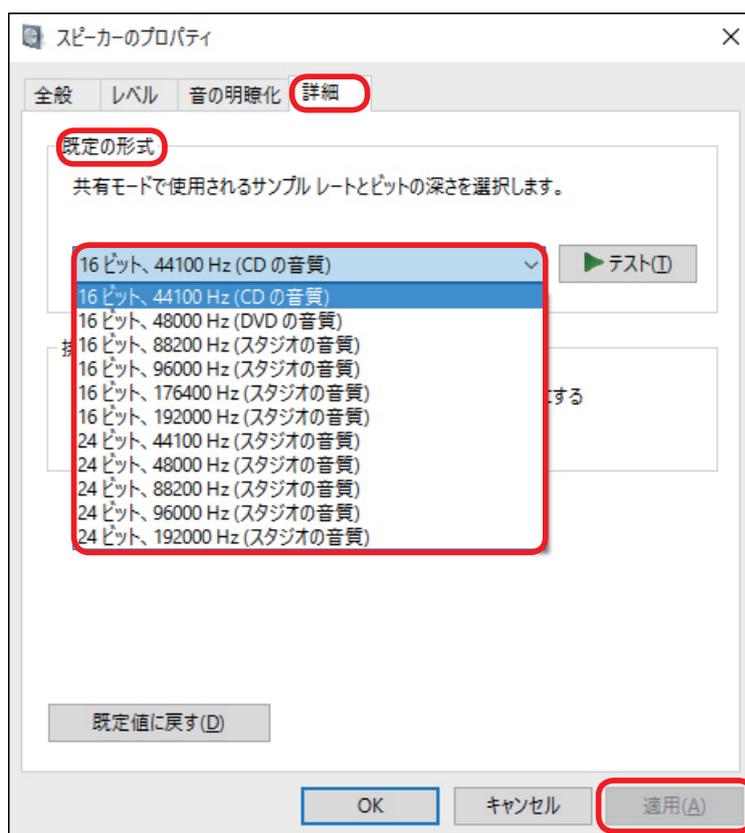
- ① 【スタート】 ⇒ 【コントロールパネル】を開きます。

2. 【ハードウェアとサウンド】 ⇒ 【サウンド】 をクリックします。

3. 【再生】 タブ の “スピーカー RAL-DSDHA5” をダブルクリックして【スピーカーのプロパティ】を開きます。



4. 【詳細】タブの“既定の形式”から、再生するファイルと同様のサンプルレートを選び、【適用】をクリックします。



以上で設定は終了です。



PCM・384kHz/352.8kHzのサンプルレートについて

Windowsのサウンド設定ではOSの仕様上、384kHz/352.8kHzのサンプルレートを設定/再生することができません。

DSD音源やPCM・384kHzの音源を再生する場合は、9ページ「DSDフォーマットの再生設定」をご参照ください。

PCM・384kHz/352.8kHzの音源を再生する場合は、23ページ「foobar2000のWASAPI出力設定」をご参照ください。

※音楽再生ソフトの出力設定がDirectSoundの場合、Windows 10/8.1/7ではOS上の仕様により24bit/88200Hz、24bit/176400Hzが表示されません。音楽ファイルと異なるサンプルレート/ビットレートを選択した場合、音楽は再生されますが、同一性を失うことがあります。

※カーネルミキサーを経由して出力されるサンプルレート/ビットレートは、本画面で設定した値に固定されます。

4 再生ソフトとドライバーの選択

Mac では OS の特性上、カーネルミキサーを経由せずに USB オーディオへ転送されます。ドライバーは共通となりますが、さまざまな再生ソフトが使用できます。

再生ソフト	ドライバー	備考
iTunes	Core Audio	Mac 標準のオーディオ再生ソフト
Play	Core Audio	http://sbooth.org/Play/
Cog	Core Audio	http://www.bridge1.com/cog.html

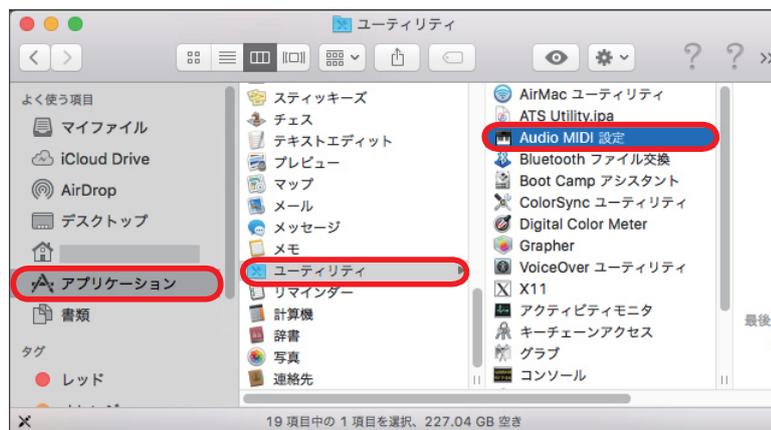
※詳しくは各再生ソフトのマニュアル等をご参照ください。

5 ビットレート / サンプルレートの設定

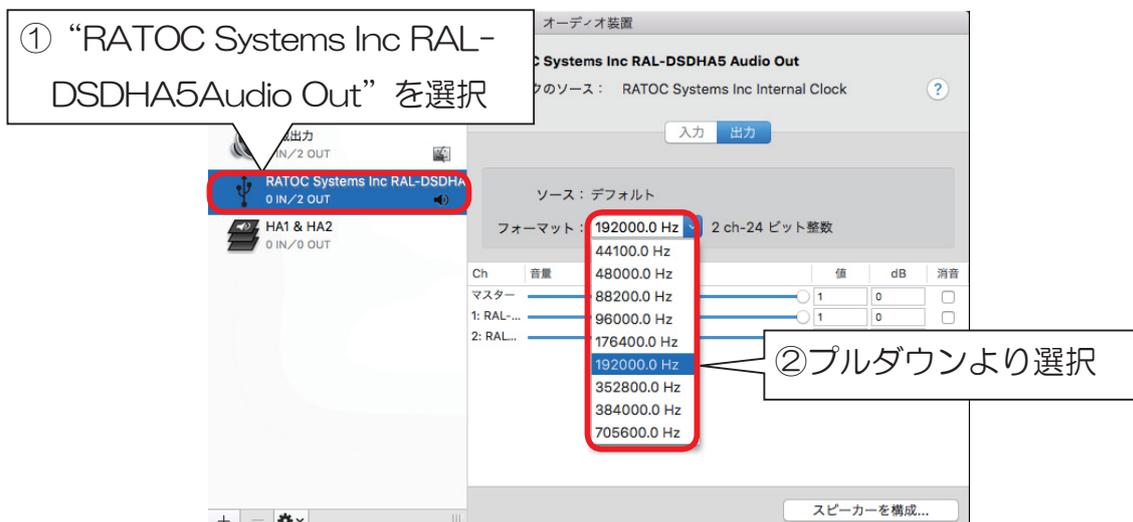
ここでは【Audio MIDI 設定】により格納された音楽ファイルのビットレート / サンプルレートに合わせることで、音楽ファイルとの同一性を保つ設定をおこないます。

【Audio MIDI 設定をおこなう】

- Finder のメニューから【アプリケーション】 ⇒ 【ユーティリティ】 ⇒ 【Audio MIDI 設定】を開きます。



- 一覧より“RATOC systems Inc RAL-DSDHA5 Audio Out”を選択し、“フォーマット”のタブから再生するファイルと同様のサンプルレートを選びます。※ 705600.0Hz の設定では再生できません。



以上で設定は終了です。

DSD フォーマットの再生設定

Windows PC 編

弊社製 DSD 対応 USB オーディオ機器で DSD 音源をネイティブ（PCM 変換せずに）再生する場合、再生ソフトウェアによって別途コンポーネント（プラグイン）が必要になる場合があります。ここでは弊社推奨の環境であるフリーソフト foobar2000（別途コンポーネント必要）と、有料ソフト JRiver Media Center（別途コンポーネント不要）の設定について説明します。

foobar2000 で再生する

6 再生ソフトウェアとファイル形式について

フリーソフト foobar2000 を使用する DSD ネイティブ (DoP Standard 1.0 準拠) 再生について順を追って説明します。

※下記の設定は専用ドライバーのインストール後におこなってください。

【必要なソフトとコンポーネント】

- ・ foobar2000（音楽再生ソフト）
- ・ foo_out_asio（foobar2000 用 ASIO 出力コンポーネント）
- ・ foo_input_sacd（DSD 音源再生用コンポーネント）

【再生可能な DSD 音源のフォーマット】

- ・ DSF 形式ファイル
- ・ DSDIFF 形式ファイル

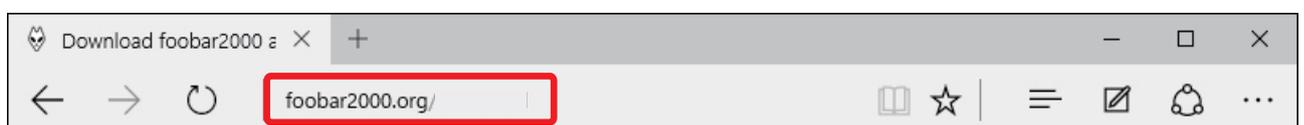
6 -1. foobar2000 のダウンロード

※画像はインターネットブラウザに Internet Explorer を使用した場合です。他のブラウザを使用の場合、表記が一部異なります。

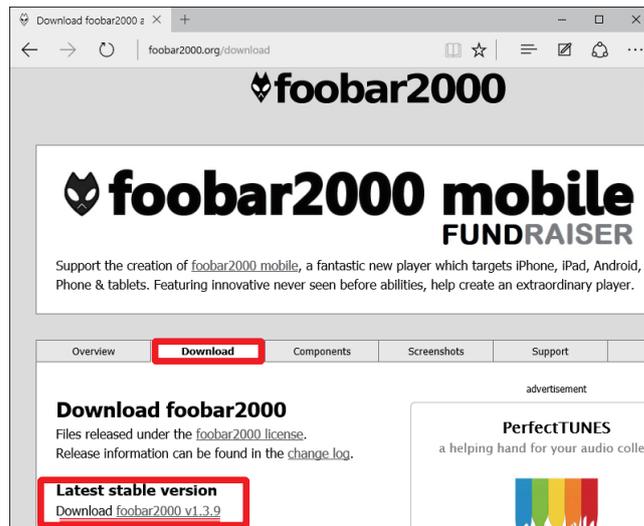
※既に foobar2000 をご利用の場合は、13 ページ「**7** コンポーネントの追加」に進んでください。

1. インターネットブラウザを開き、下記の URL にアクセスします。

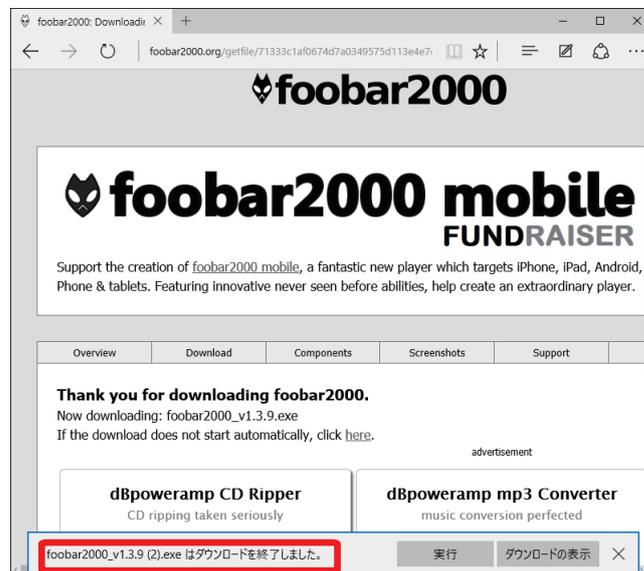
<http://www.foobar2000.org/>



2. “Download” タグの “Latest stable version Download foobar2000 v1.3.9” をクリックします。 ※バージョンアップにより、下線部の表記は更新されます。

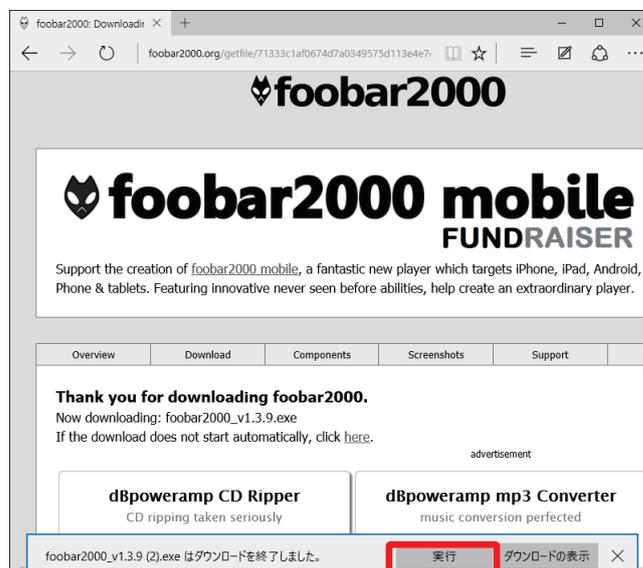


3. ダウンロードが終了したことを確認します。



6 -2. foobar2000 のインストール

1. 【実行】をクリックします。

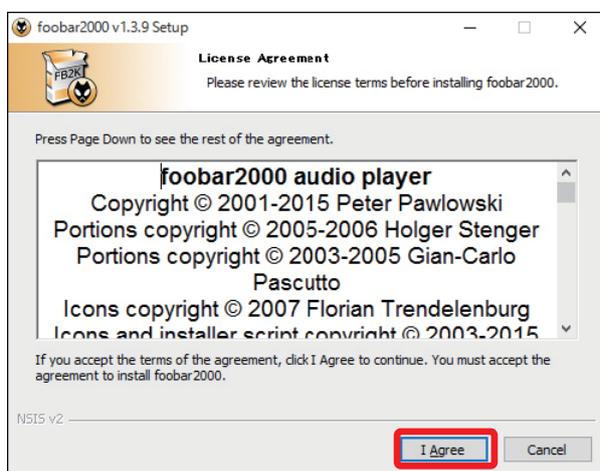


※【ユーザーアカウント制御】画面が表示されたら、【はい】または【続行】ボタンをクリックします。

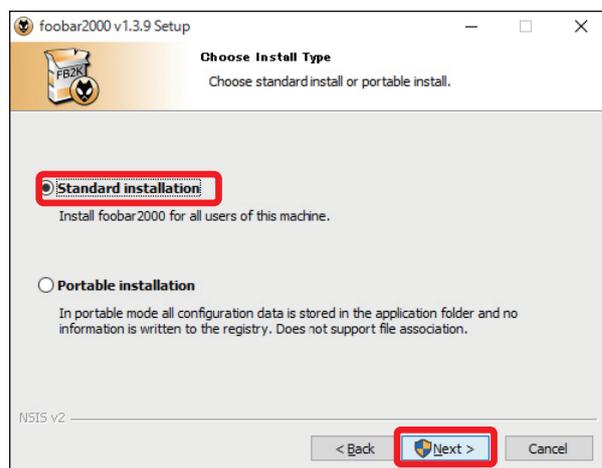
2. インストーラーが起動したら、【Next】をクリックします。



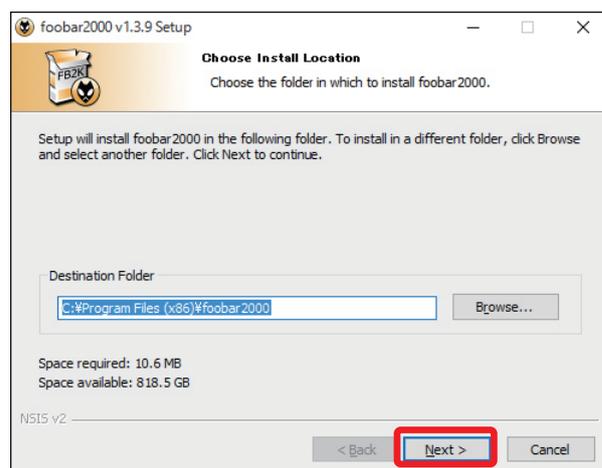
3. ライセンスが表示されます。問題がなければ【I Agree】をクリックします。



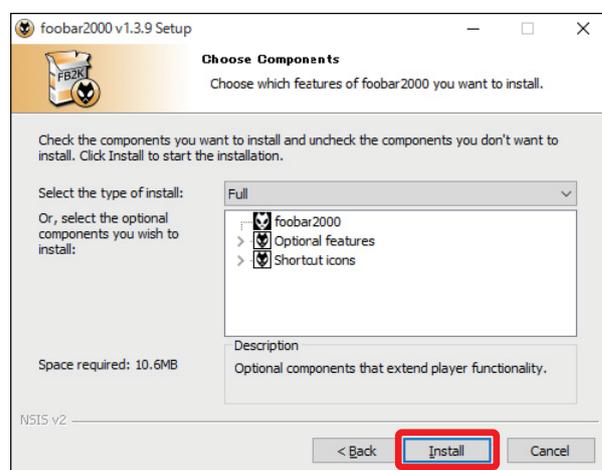
4. インストール設定が表示されます。“Standard installation” が選択されていることを確認し、【Next】をクリックします。



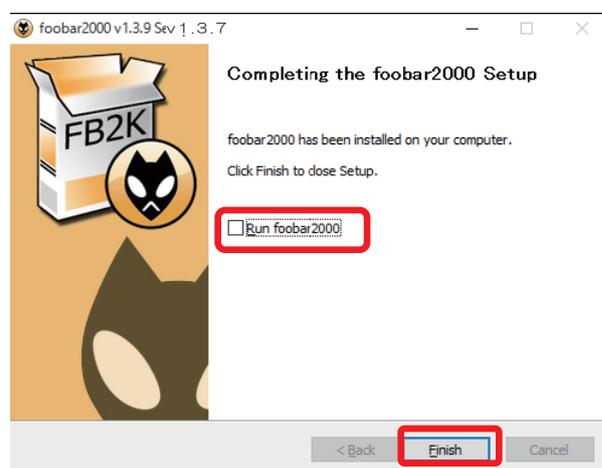
5. ファイルの保存先を設定します。【Next】をクリックします。



6. コンポーネントの選択画面で【Install】をクリックします。



7. インストールが完了しました。“Run foobar2000”のチェックを外し、【Finish】をクリックします。



7 コンポーネントの追加

foobar2000 での DSD ネイティブ再生 (DoP Standard 1.0 準拠) は、各コンポーネントを追加することにより実現します。下記の手順に従い各コンポーネントをダウンロードし、設定をおこなってください。

7 -1. foo_out_asio の追加

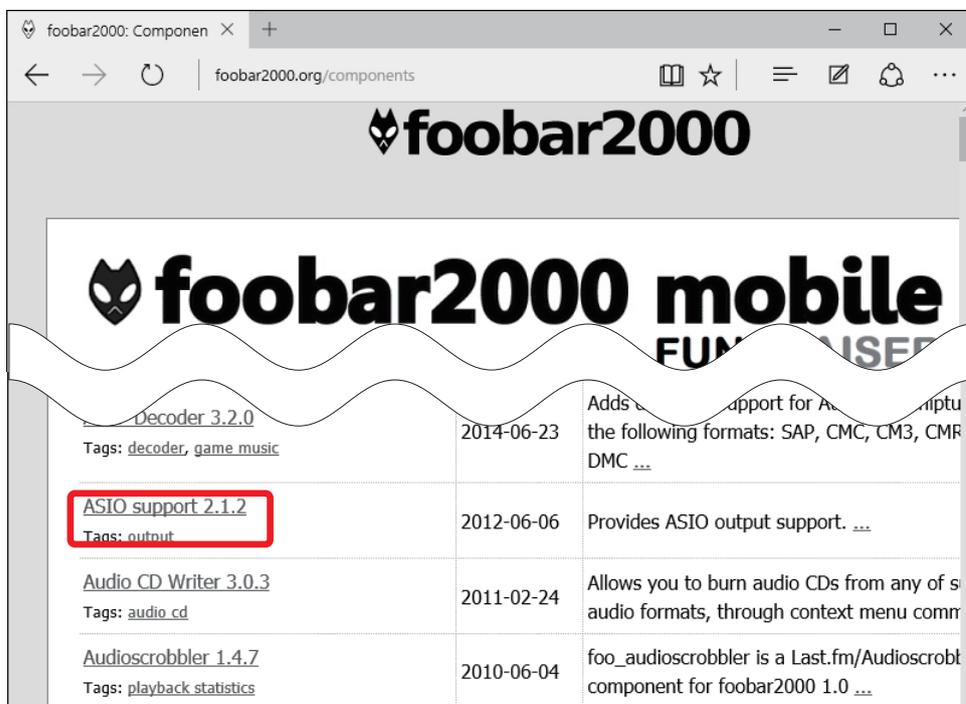
1. インターネットブラウザを開き、下記の URL にアクセスします。

<http://www.foobar2000.org/components>



2. “ASIO Support 2.1.2” をクリックします。

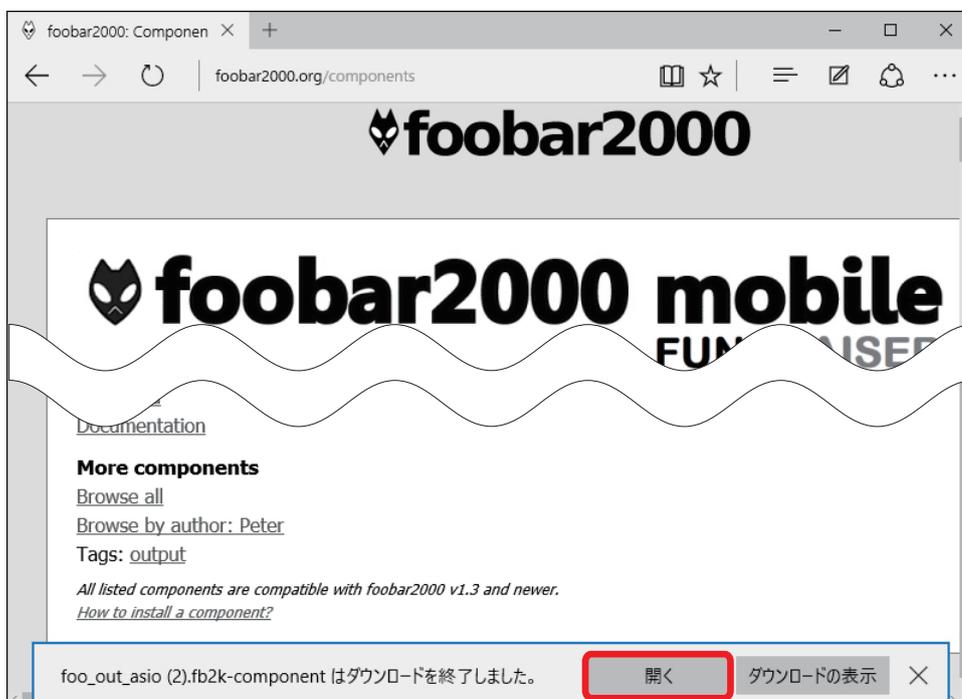
※バージョンアップにより、下線部の表記は更新されます。



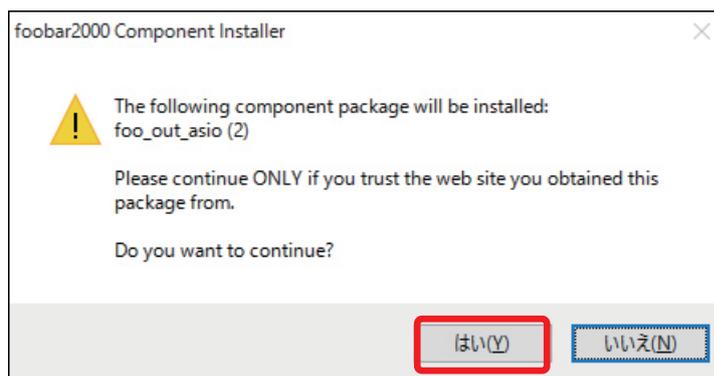
3. Links 内の “Download” をクリックします。



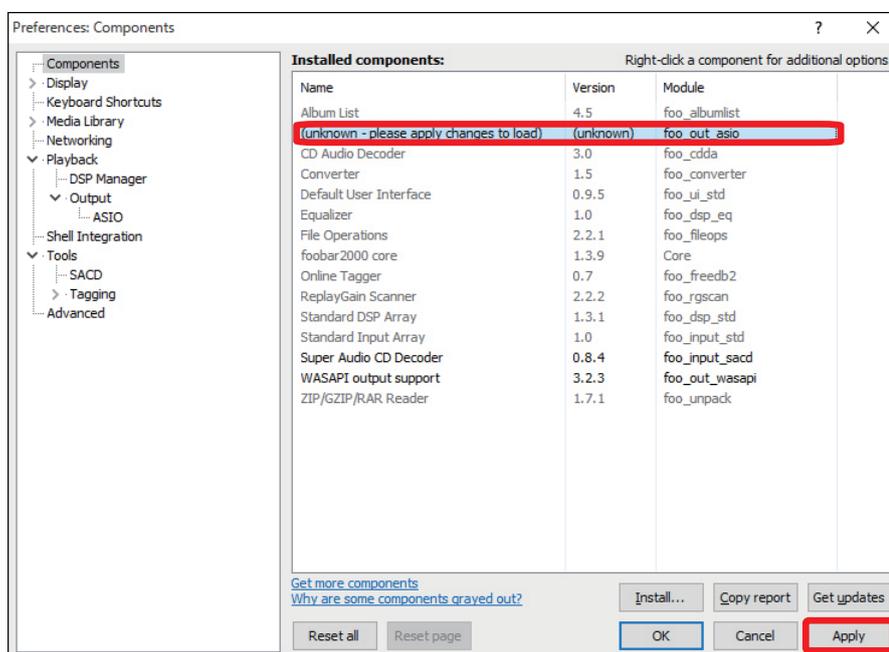
4. 【開く】をクリックします。



5. foobar2000 が起動し、下記の画面が表示されます。【はい】をクリックします。



6. 登録されたコンポーネント内に “foo_out_asio” が表示されます。
“foo_out_asio” を選択し、【Apply】をクリックします。



7. 下記の画面が表示されます。【OK】をクリックします。

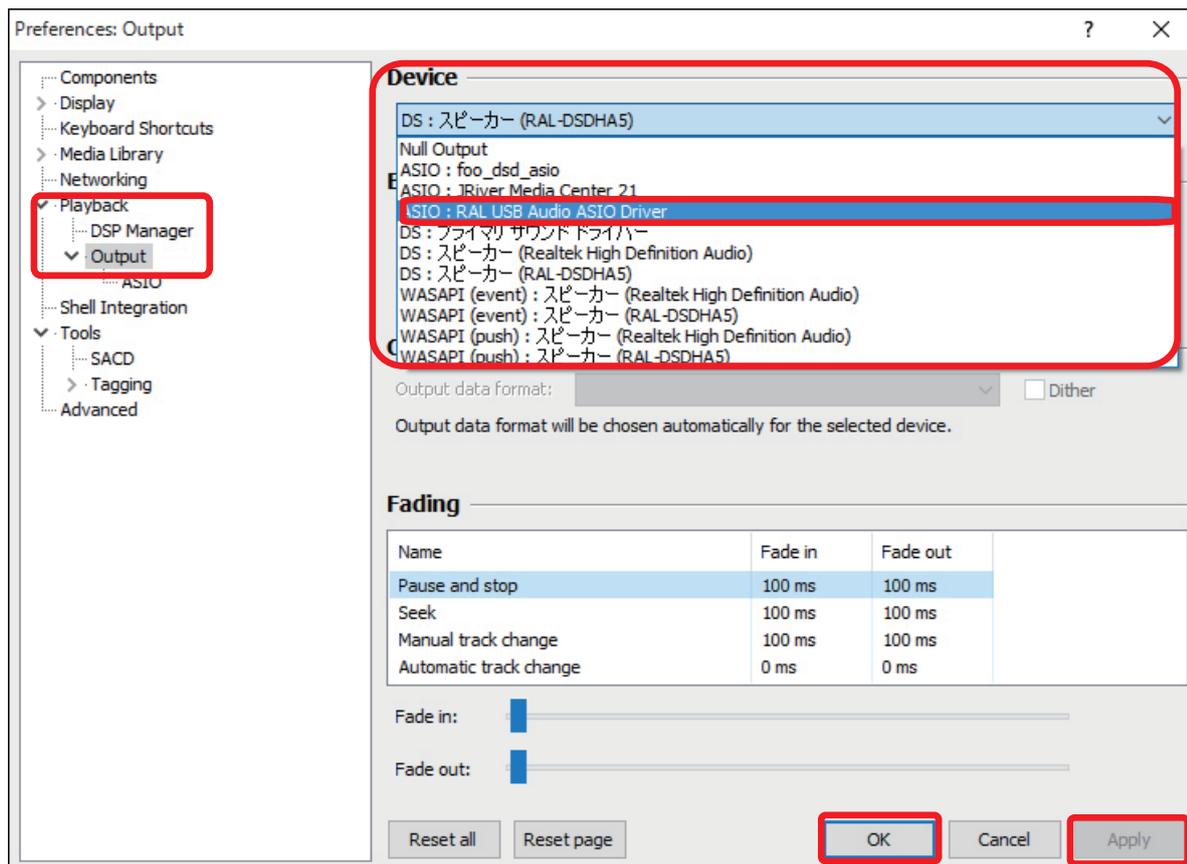


以上で foobar2000 に foo_out_asio がインストールされました。



リニア PCM 音源を ASIO Driver で再生する場合

【file】⇒【Components】⇒【Playback】⇒【Output】の Device 内 “ASIO:RAL USB Audio ASIO Driver” を選択し、【Apply】⇒【OK】をクリックします。



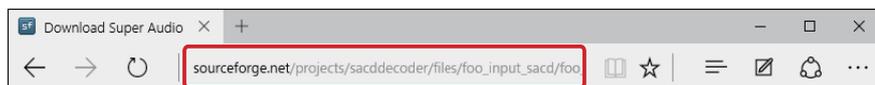
※ Device 内に “ASIO:RAL USB Audio ASIO Driver” が表示されていない場合は、20 ページの手順 5 をご参照ください。

7 -2. foo_input_sacd の追加

次に foo_input_sacd のダウンロードとインストールをおこないます。下記の手順に従いファイルをダウンロードし、設定をおこなってください。

1. インターネットブラウザを開き、下記の URL にアクセスします。

http://sourceforge.net/projects/sacddecoder/files/foo_input_sacd/



2. “foo_input_sacd-0.8.3.zip” をクリックします。

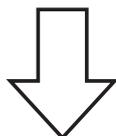
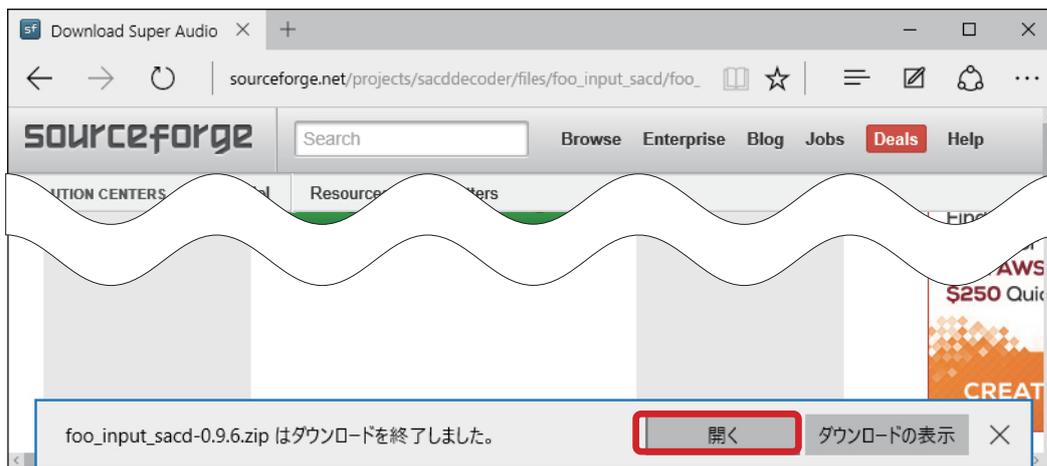
※バージョンアップにより、下線部の表記は更新されます。異なるバージョンをインストールした場合、正常に動作しない場合があります（foo_input_sacd-0.8.3 は動作確認済）。



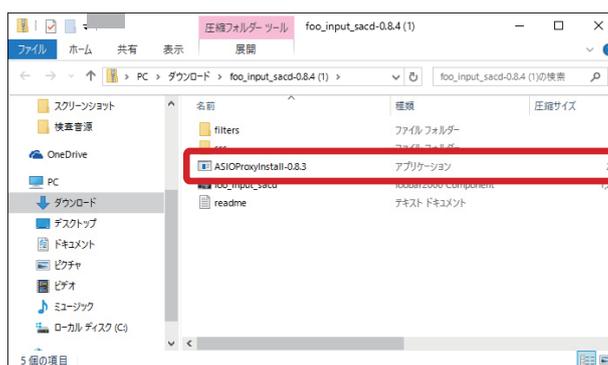
3. ダウンロードが終了したことを確認します。



4. 【開く】をクリックします。

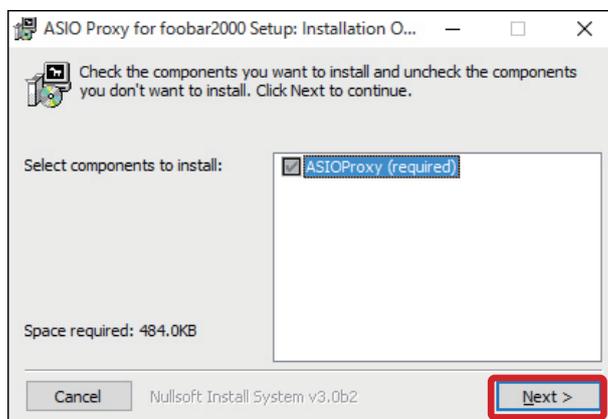


5. “ASIOProxyInstall” をダブルクリックします。

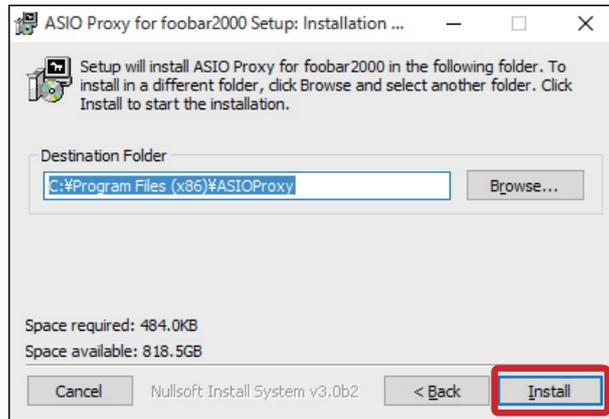


※【ユーザーアカウント制御】画面が表示されたら、【はい】または【続行】ボタンをクリックします。

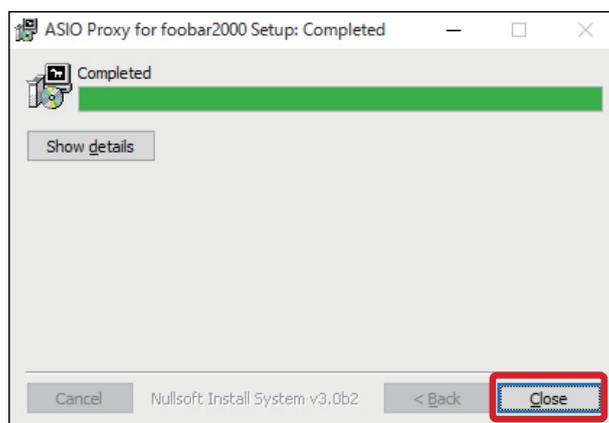
6. インストーラーが起動します。【Next】をクリックします。



7. ファイルの保存先を設定します。【Install】をクリックします。



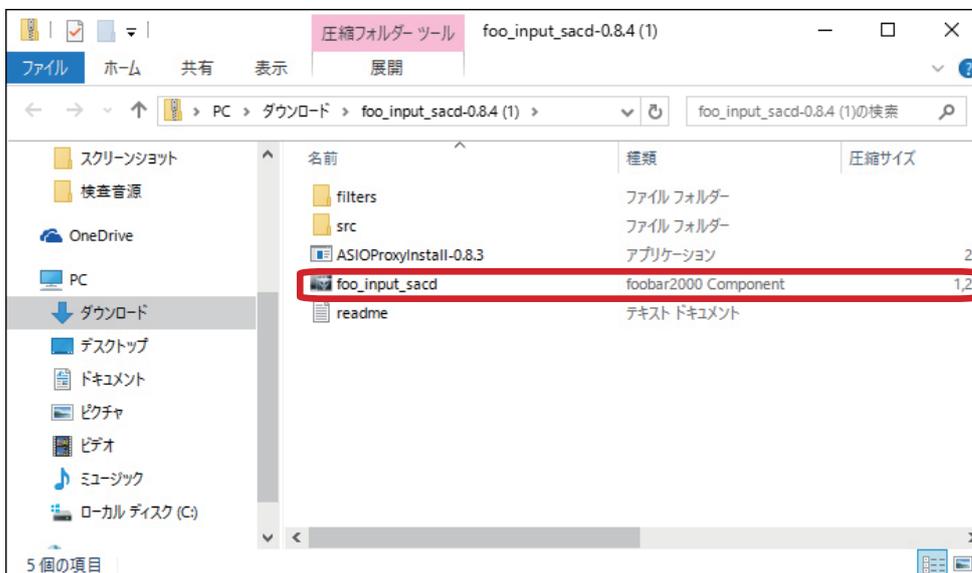
8. インストールが完了しました。【Close】をクリックします。



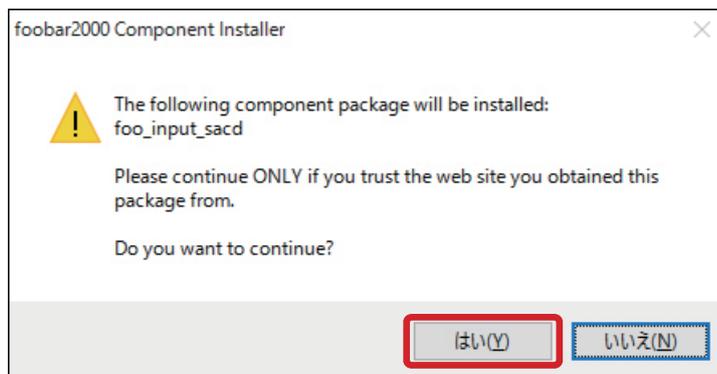
8 foobar2000 の設定

次に foobar2000 の設定をおこないます。下記の手順に従い、設定をおこなってください。

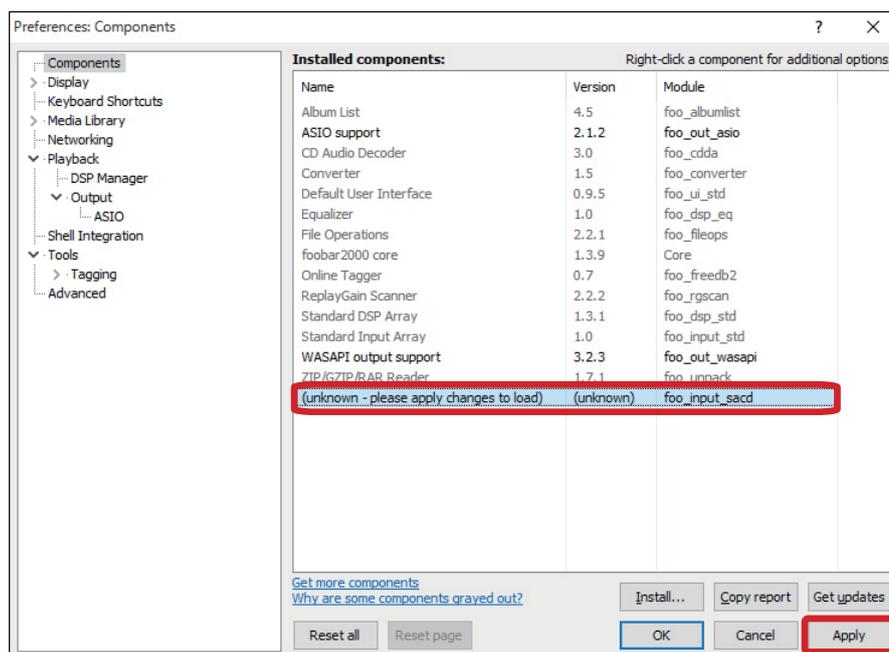
1. 16 ページでダウンロードした圧縮ファイルを展開し、“foo_input_sacd” をダブルクリックします。



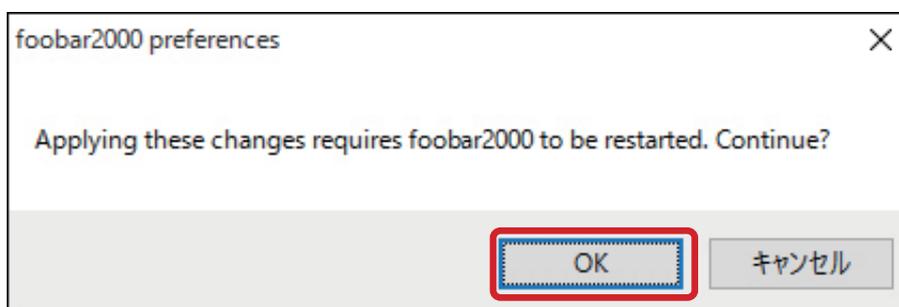
2. foobar2000 が起動し、下記の画面が表示されます。【はい】をクリックします。



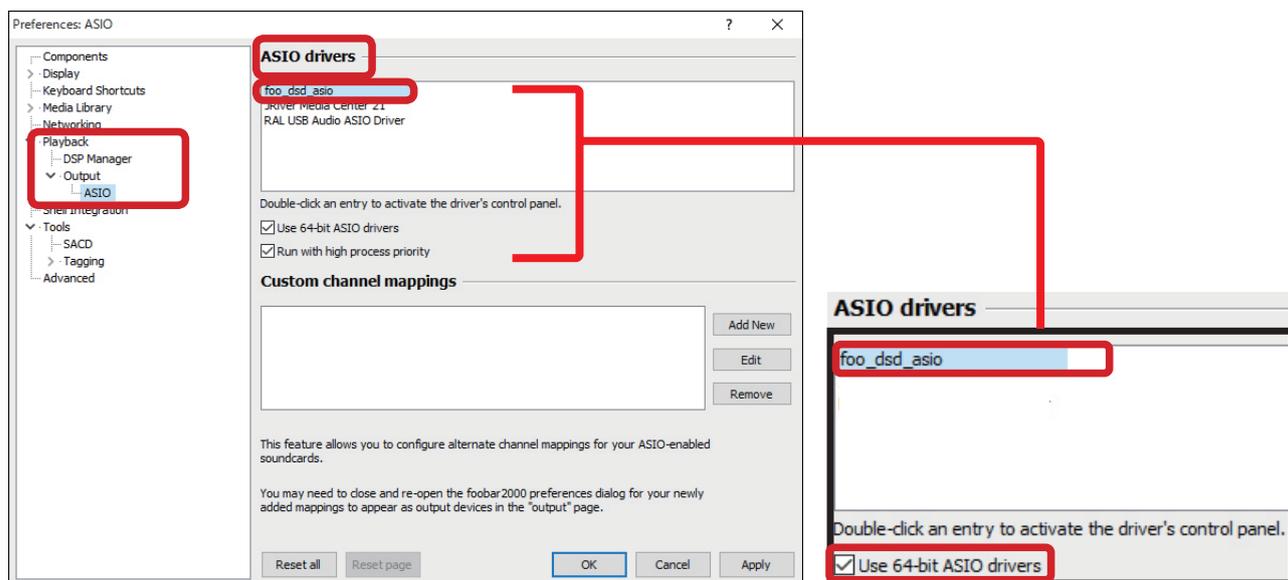
3. “foo_input_sacd” を選択し、【Apply】をクリックします。



4. 下記の画面が表示されます。【OK】をクリックします。



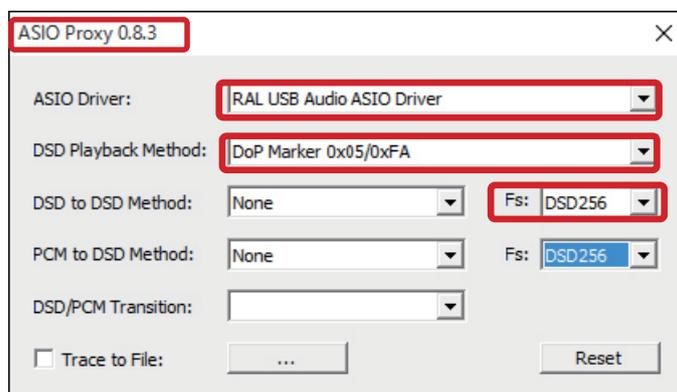
5. 【file】 ⇒ 【Components】 ⇒ 【Output】 ⇒ 【ASIO】 の ASIO drivers 内 “foo_dsd_asio” をダブルクリックします。



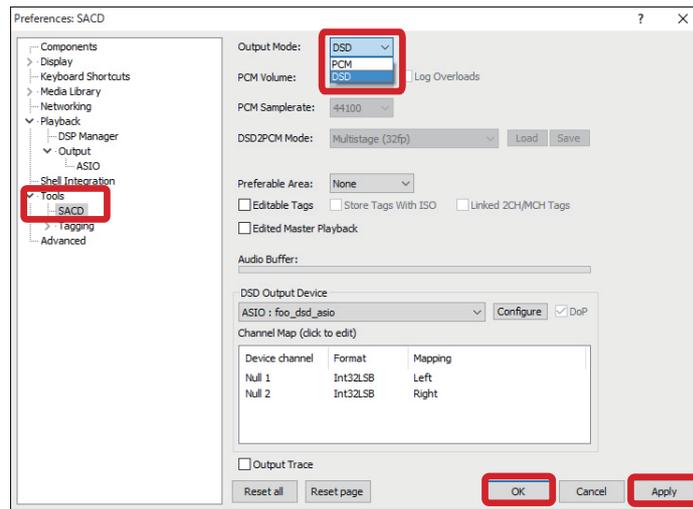
※ ASIO drivers 内に “RAL USB Audio ASIO Driver” が表示されていない場合は、“Use 64bit ASIO drivers” にチェックを入れ【Apply】 ⇒ 【OK】 をクリックします。

6. “ASIO Driver” を “RAL USB Audio ASIO Driver” に、“DSD Playback Method” を “DoP Marker 0x05/0xFA” に、“Fs” を “DSD256” にそれぞれ設定し、画面を閉じます。

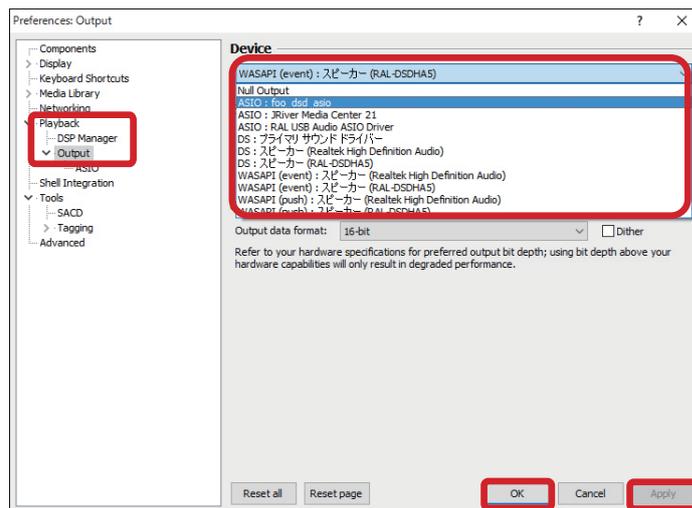
foo_dsd_asio v0.8.3 の場合



7. 【file】⇒【Preferences】⇒【Tools】⇒【SACD】の“ASIO Driver Mode”を“DSD”に設定し、【Apply】⇒【OK】をクリックします。



8. 【file】⇒【Preferences】⇒【Playback】⇒【Output】の“Device”を“ASIO : foo_dsd_asio”に設定し、【Apply】⇒【OK】をクリックします。

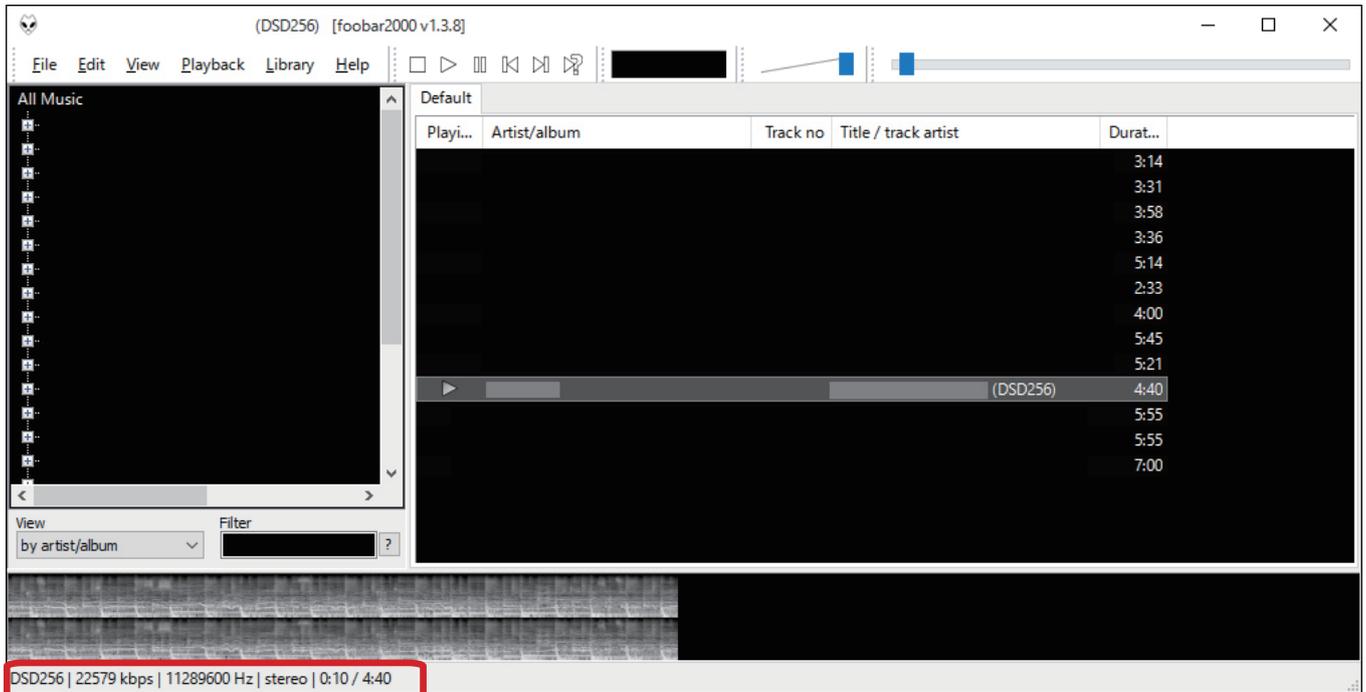


以上で設定は完了です。プレイリスト内のお好みのDSD音源を再生してください。



DSD音源を再生する場合は、foobar2000のボリュームを最大に設定してください。
※ DoP方式の仕様により、アプリケーション側で音量を調節すると音源データが変化するため、正常に再生できない恐れがあります。(無音となります)。

DSD 音源がネイティブ再生されている場合、下記赤枠内のように表示されます。



DSD64 (2.8MHz) 音源を再生した場合

DSD64 | 5645kbps | 2822400 Hz | stereo

DSD128 (5.6MHz) 音源を再生した場合

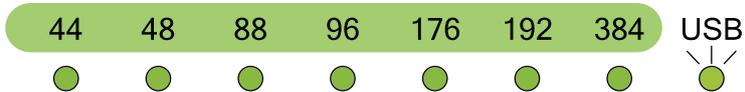
DSD128 | 11290kbps | 5644800 Hz | stereo

DSD256 (11.2MHz) 音源を再生した場合

DSD256 | 22579kbps | 11289600 Hz | stereo

音楽再生時のLEDの点灯について

緑に点灯：PCM 44/48/88/96/176/192/384 - USB



DSD64 DSD128 DSD256 352 OPT

赤に点灯：DSD64/128/256 PCM 352 - OPT

音楽を再生したとき、USBのLED（緑）が点灯していることをご確認ください。サンプルレートを示すLEDの点灯は左記のとおりです。



リニア PCM 音源を再生するときも、音楽データを選択するだけ

リニア PCM 音源を再生する場合においても、上記の DSD 再生設定を変更する必要はありません。また、フォーマットが混在した同一プレイリスト内の再生もシームレスで再生することが可能です。音楽データの転送方式を変更したい場合は、【file】⇒【Preferences】⇒【Playback】⇒【Output】の“Device”より“ASIO: RAL USB Audio ASIO Driver”、“DS: スピーカー (RAL-DSDHA5)”、“WASAPI: スピーカー (RAL-DSDHA5)”などを設定してください。

foobar2000 の WASAPI 出力設定

通常の設定では、Windows パソコンで再生されたデータはカーネルミキサーを経由して USB オーディオより転送されますが、カーネルミキサーをバイパスすることにより音質向上が見込めます。ここではカーネルミキサーをバイパスして再生する WASAPI 出力の設定方法について説明します。

※ foobar2000 の WASAPI 出力設定では DSD 音源を再生することはできません。リニア PCM のハイレゾ音源を再生する場合にご参照ください。

1. インターネットブラウザを開き、下記の URL にアクセスします。

<http://www.foobar2000.org/components>

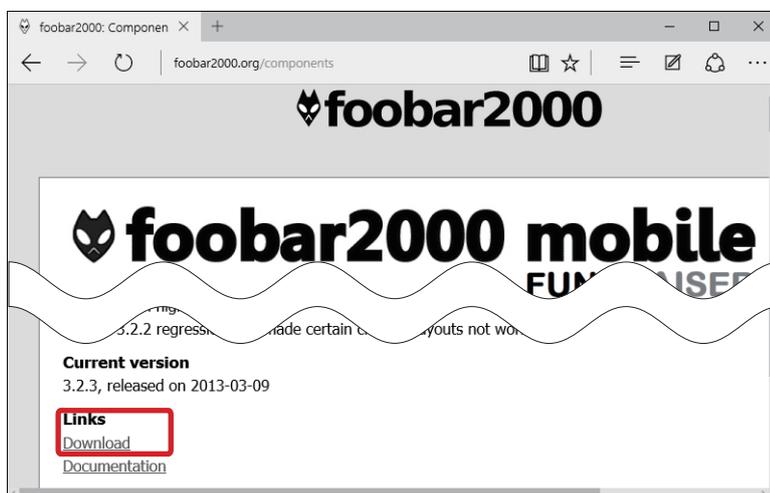


2. “WASAPI output support 3.2.3” をクリックします。

※バージョンアップにより、下線部の表記は更新されます。



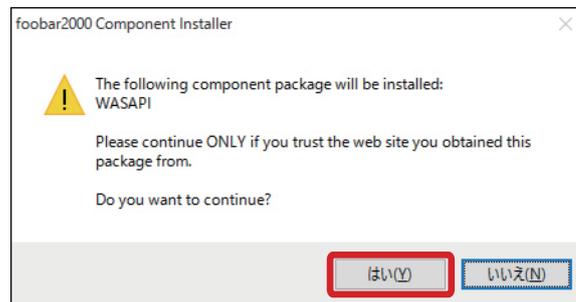
3. Links 内の【Download】をクリックします。



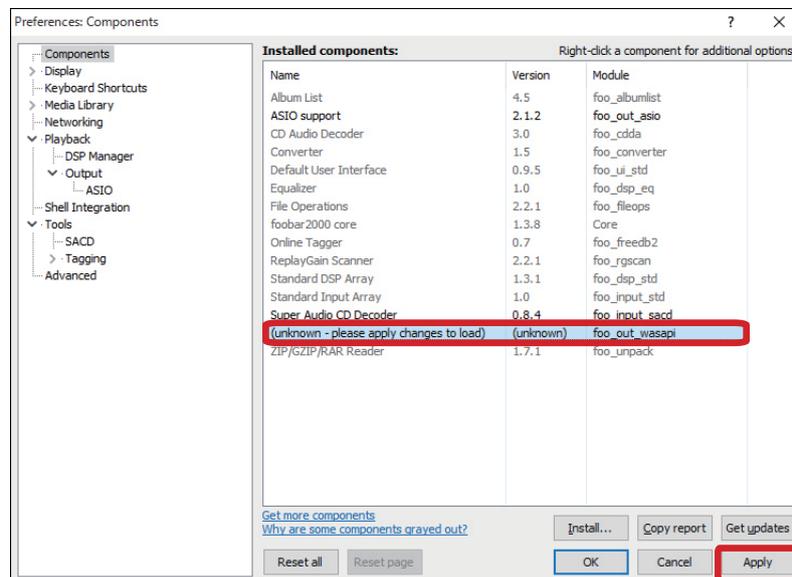
4. 【開く】をクリックします。



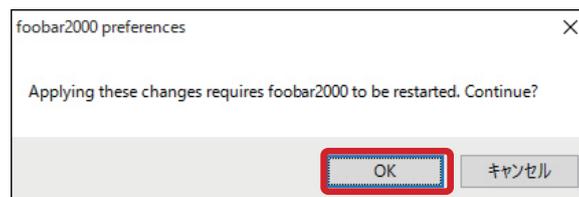
5. foobar2000 が起動し、下記の画面が表示されます。【はい】をクリックします。



6. 登録されたコンポーネントの Module 内に “foo_out_wasapi” が表示されます。“foo_out_wasapi” を選択し、【Apply】をクリックします。



7. 下記の画面が表示されます。【OK】をクリックします。



以上で foobar2000 に foo_out_wasapi がインストールされました。

【file】⇒【Preferences】⇒【Playback】⇒【Output】で “WASAPI (event) : スピーカー (RAL-DSDHA5)” を選択し、音楽を再生してください。

9 再生ソフトとファイル形式について

有料ソフト JRiver Media Center を使用する DSD ネイティブ（DoP Standard 1.0 準拠）再生について説明します。

※下記の設定は、専用ドライバーのインストール後におこなってください。

【必要なソフトとコンポーネント】

- ・ JRiver Media Center（音楽再生ソフト）

【再生可能な DSD 音源のフォーマット】

- ・ DSF 形式ファイル
- ・ DSDIFF 形式ファイル

10 再生ソフトの購入

下記 URL にて JRiver Media Center をダウンロード / 購入してください。

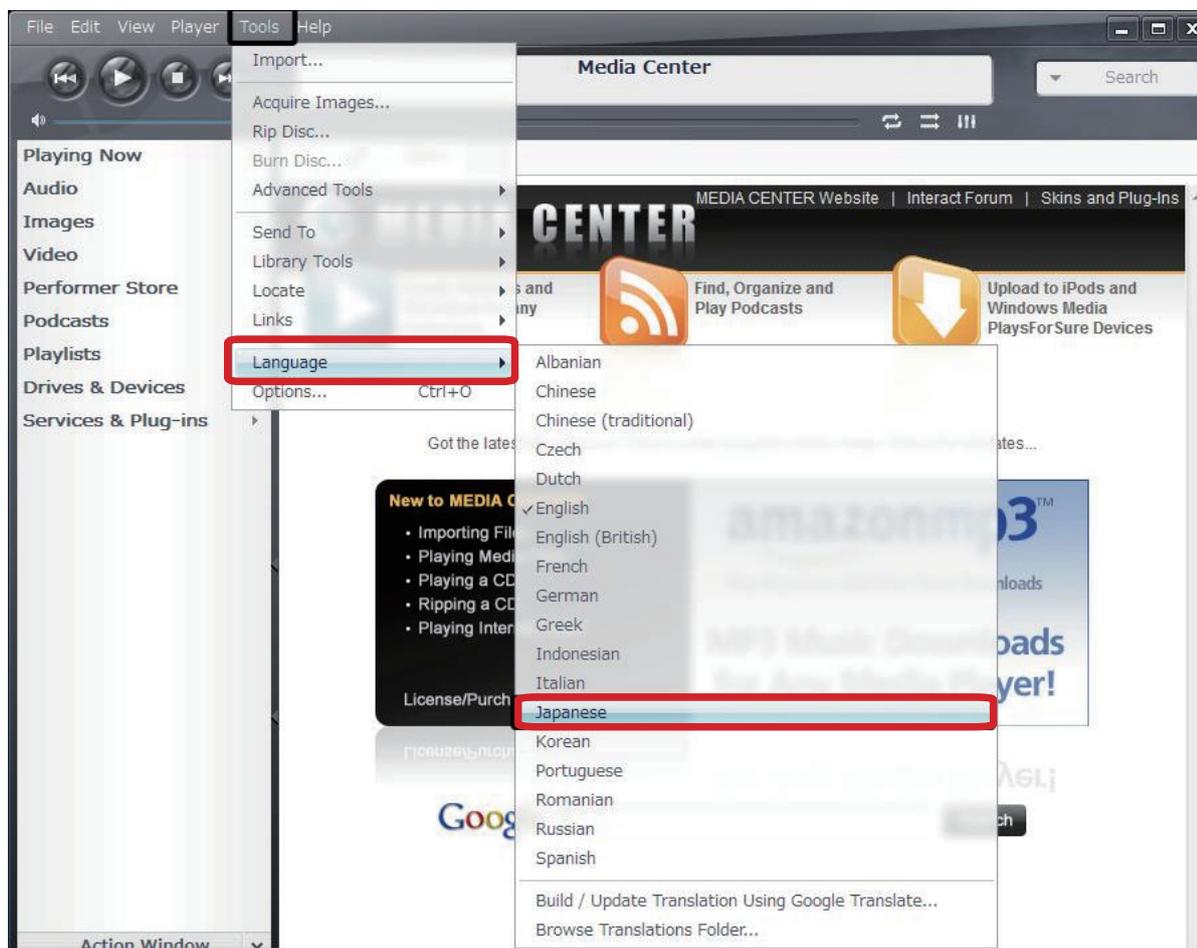
<http://www.jriver.com/download.html>



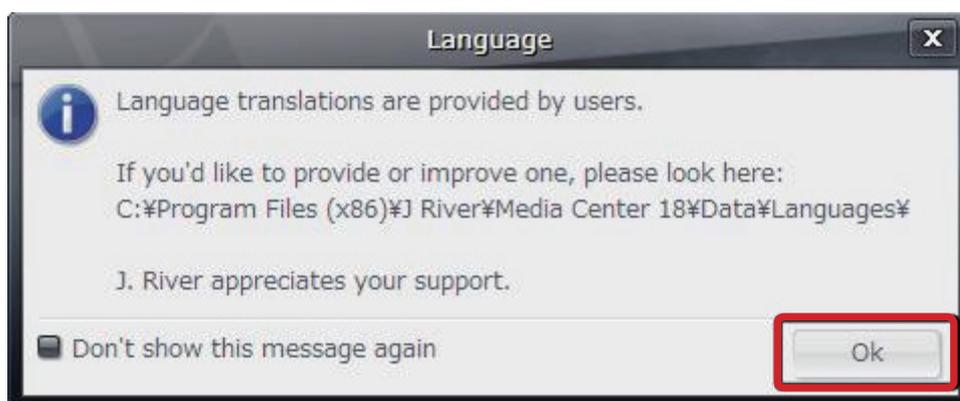
The screenshot shows the JRiver Media Center website. The header features the JRiver Media Center logo and navigation links: home, download, purchase, support, company. Social media sharing buttons for Facebook (3,094 likes), Twitter (165 tweets), Google+ (347 shares), and YouTube (2.7K shares) are visible. The main content area is titled "Download a Free Trial of JRiver Media Center". It includes sections for "How this works" and "Install". The "Install" section provides instructions on how to use the software. Below this, there is a "Download (Windows)" section with an email input field and a "WINDOWS DOWNLOAD" button. A red box highlights the "WINDOWS DOWNLOAD" button. At the bottom, there is a link to "Click here if you are unable to download using the button above."

11 日本語に表記を変更する

1. JRiver Media Center を起動し、【Tools】⇒【Language】⇒【Japanese】をクリックします。



2. 下記の画面が表示されますので【OK】をクリックします。



以上で表記が日本語に切り替わります。

12 JRiver Media Center の再生設定

1. 【ツール】 ⇒ 【オプション】 をクリックします。



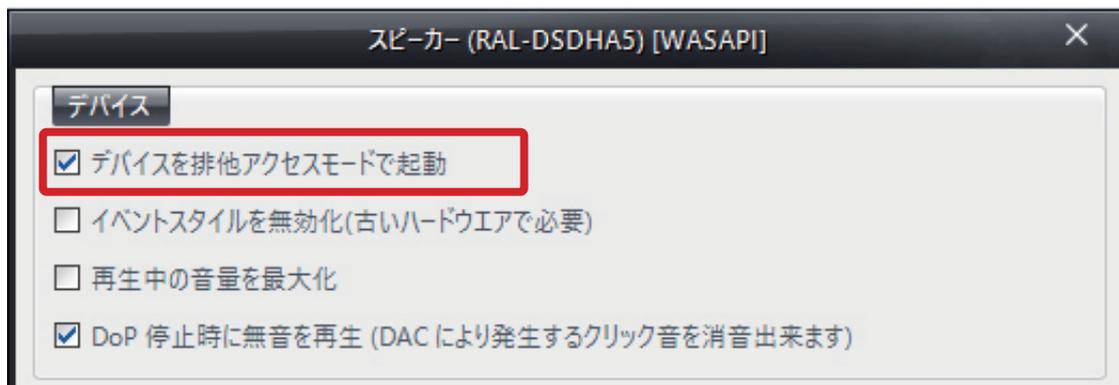
2. オプション画面の“オーディオ”をクリックし、次に“オーディオデバイス”から“スピーカー (RAL-DSDHA5) [WASAPI]”を選択します。



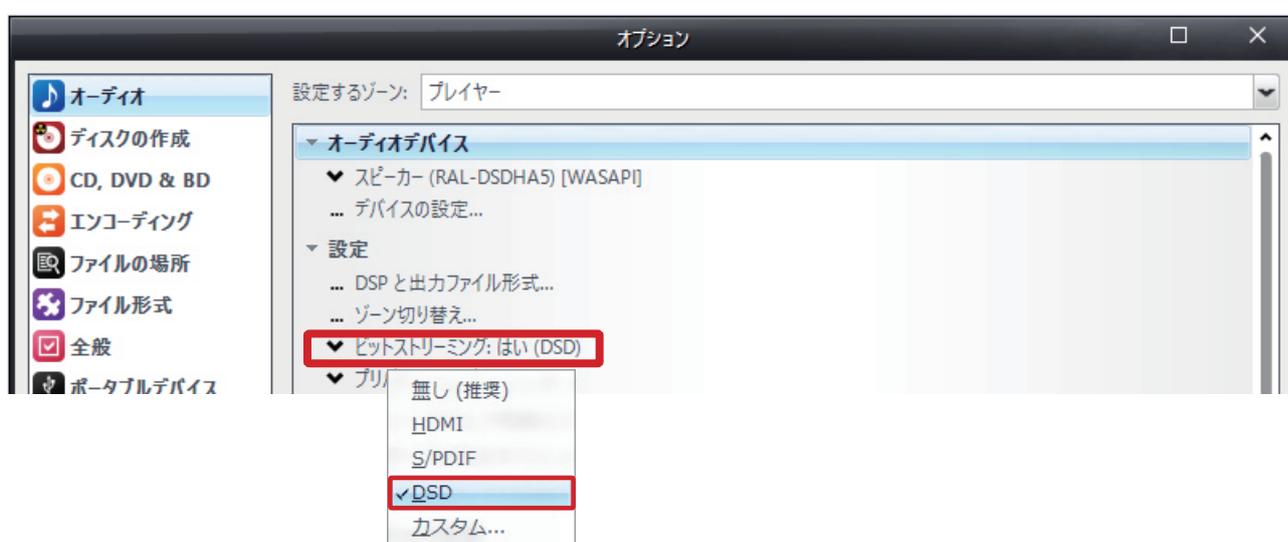
3. オプション画面の“デバイスの設定”をクリックします。



4. “デバイスを排他アクセスモードで起動” にチェックが入っていることを確認します。



5. “ビットストリーミング” を “DSD” に設定します。



以上で設定は完了です。



DSD 音源を再生する場合は、JRiver Media Center のボリュームを最大に設定してください。

※ DoP 方式の仕様により、アプリケーション側で音量を調節すると、音源データが変化するため、正常に再生できない恐れがあります。(無音となります)。

音楽再生時の LED の点灯について

緑に点灯：	PCM 44/48/88/96/176/192/384	-	USB					
	44	48	88	96	176	192	384	USB
	●	●	●	●	●	●	●	●
	DSD64	DSD128	DSD256	352	OPT			
赤に点灯：	DSD64/128/256	PCM 352	-	OPT				

音楽を再生したとき、USB の LED (緑) が点灯していることをご確認ください。サンプルレートを示す LED の点灯は左記のとおりです。

13 JRiver Media Center に音楽データを追加する

ここでは例として、ミュージックフォルダー内に保存された音楽データを JRiver Media Center のプレイリストに追加します。

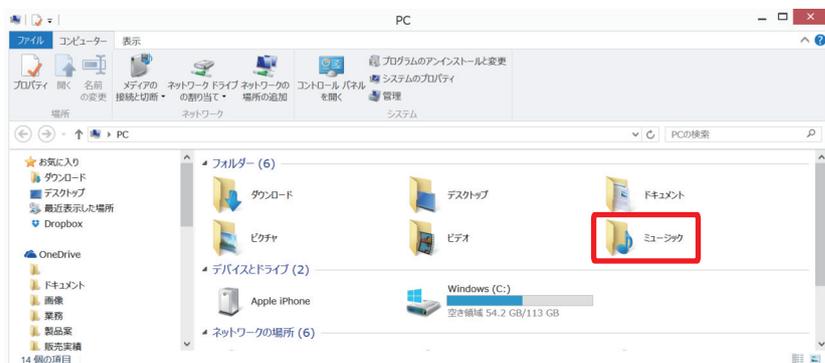
1. JRiver Media Center を起動し、“オーディオ” をクリックします。



2. 【スタート】⇒【ミュージック】⇒音楽データファイルを表示します。

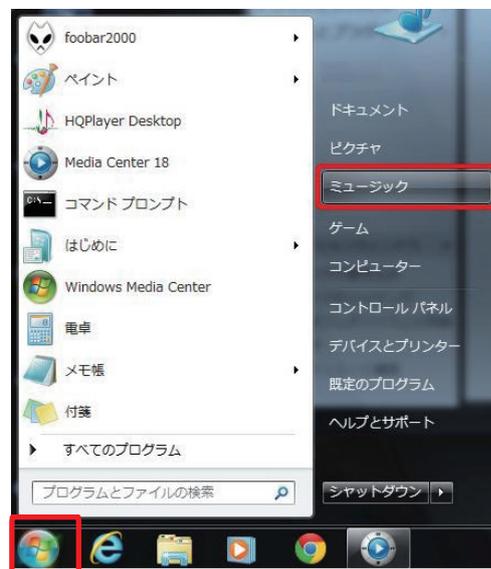
【Windows 10/8.1 の場合】

- ①スタート画面の【デスクトップ】をクリックし、デスクトップ画面を開きます。
- ②デスクトップ画面のタスクバー内の【フォルダー】をクリックし、【ミュージック】をクリックします。

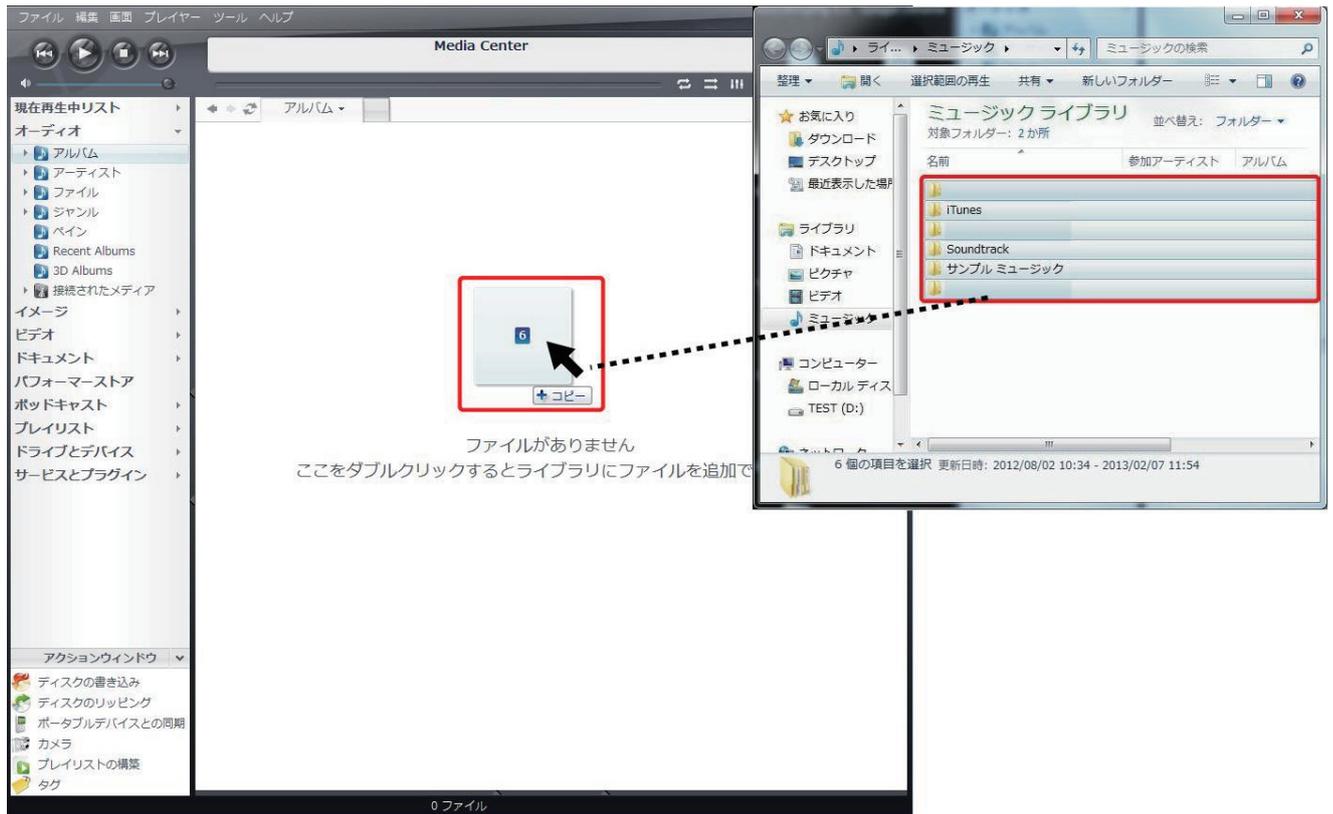


【Windows 7 の場合】

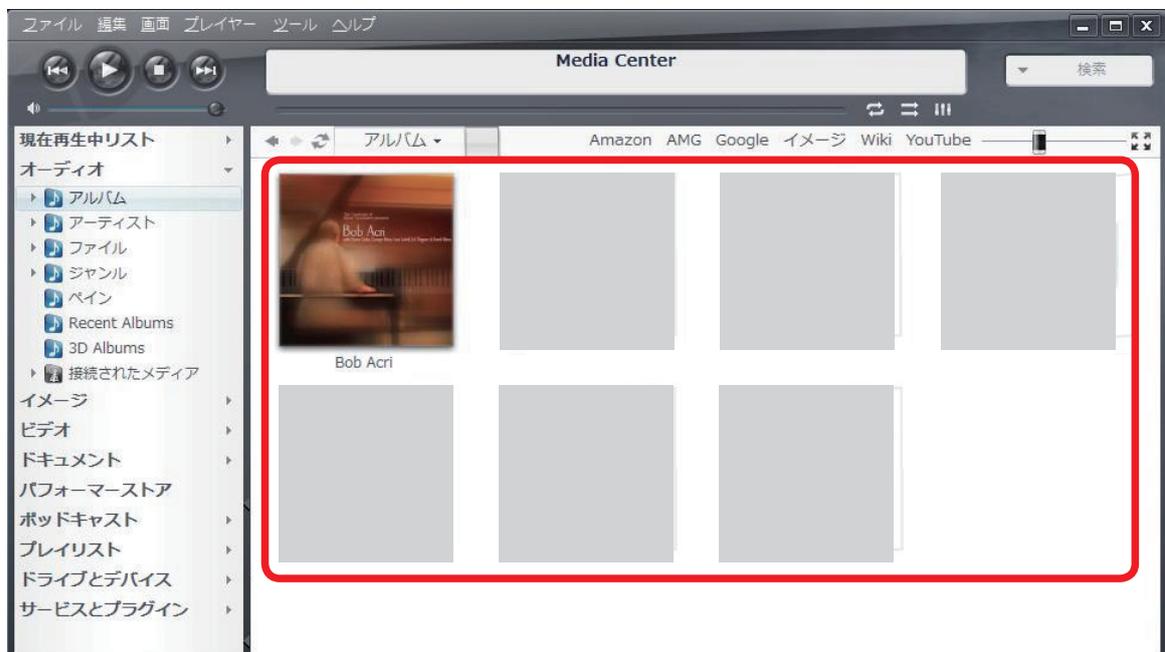
- 【スタート】⇒【ミュージック】をクリックします。



3. 音楽データファイルを選択し、JRiver Media Center 内の再生リスト内にドラック⇒ドロップで音楽データファイルを移動します。



4. しばらく待つと、再生リスト内に音楽データが反映されます。



※ハイレゾデータなどをデスクトップ上に保存している場合も、上記と同様にファイルを選択し、ドラック&ドロップで音楽データファイルを移動します。

DSD フォーマットの再生設定

Mac 編

Audirvana Plus で再生する

14 再生ソフトとファイル形式について

弊社製 USB オーディオ機器で DSD (DSF/DSDIFF) ファイルをリニア PCM に変換せず再生するためには、有料の再生ソフトウェアが必要になります。

弊社推奨の環境である有料ソフト Audirvana Plus を使用する DSD ダイレクト (DoP Standard 1.0 準拠) 再生について説明します。

【必要なソフト】

- ・ Audirvana Plus (音楽再生ソフト)

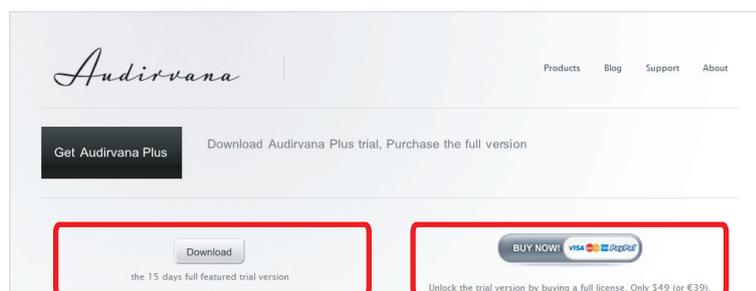
【再生可能な DSD 音源のフォーマット】

- ・ DSF 形式ファイル
- ・ DSDIFF 形式ファイル

15 再生ソフトの購入

下記 URL にて Audirvana Plus をダウンロード / 購入してください。

http://audirvana.com/?page_id=112



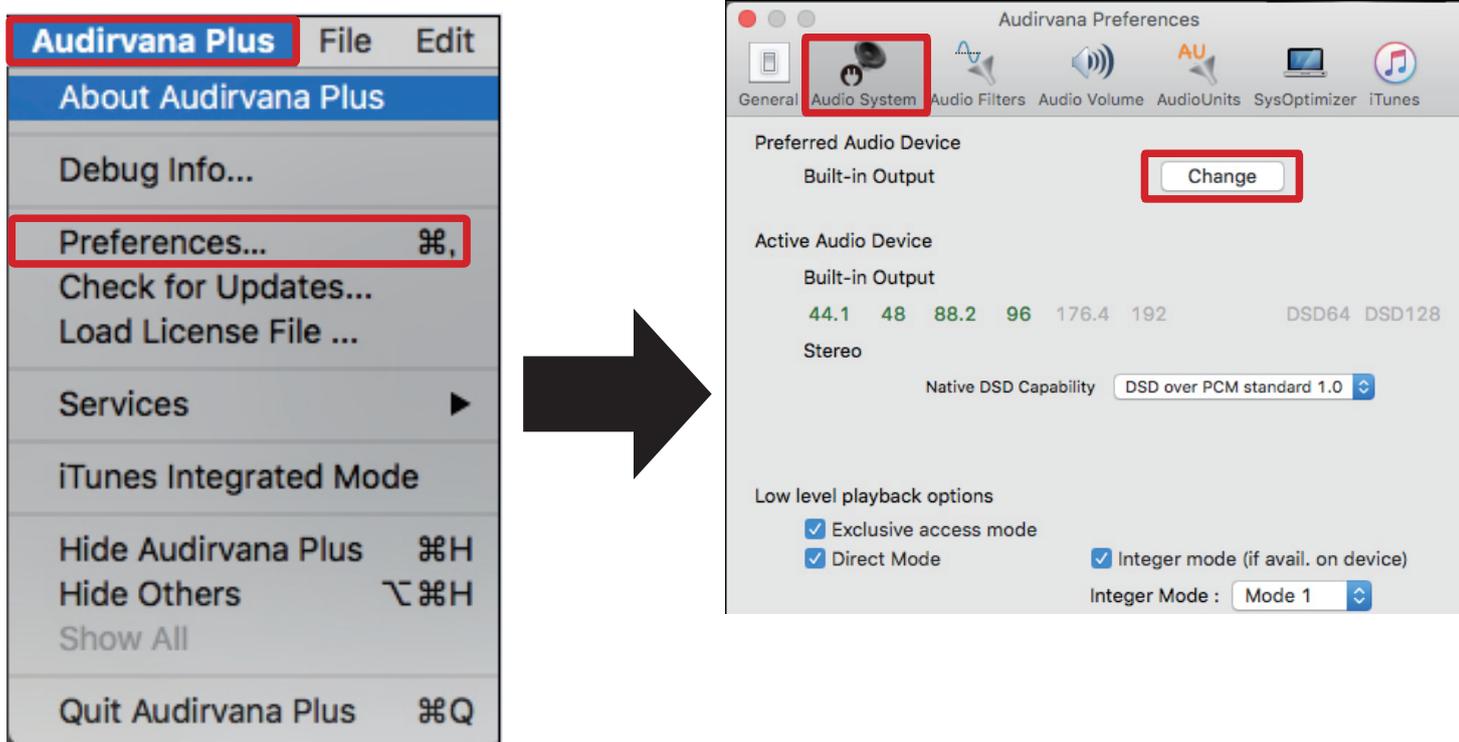
15日間の無料お試し版をインストールする場合は、こちらをクリックしてください。

Audirvana Plusを購入する場合は、こちらをクリックしてください。

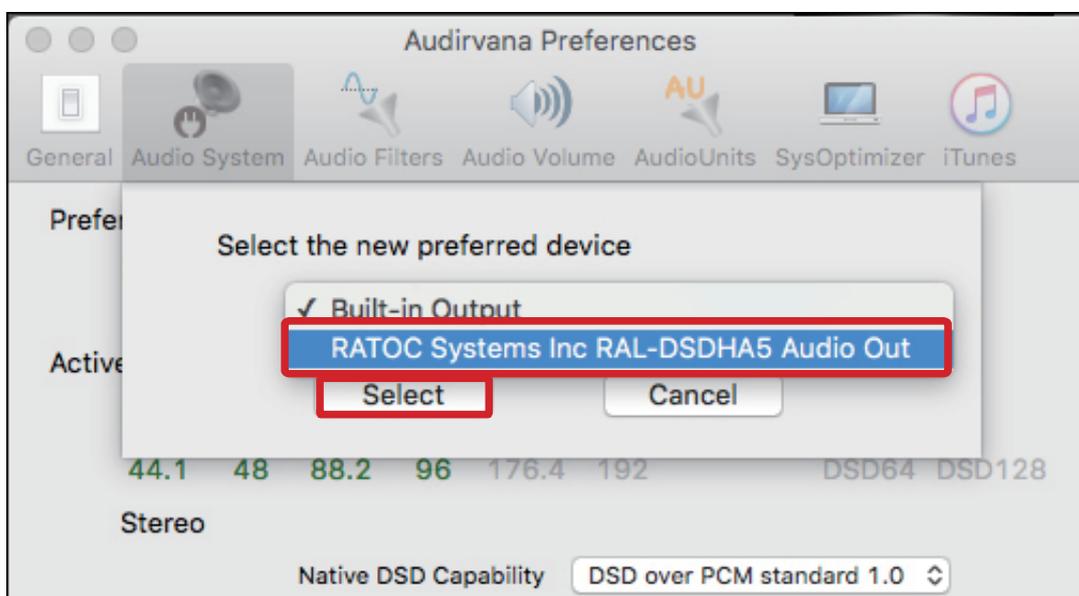
16 Audirvana Plus の再生設定

Audirvana Plus で DSD ネイティブ再生を可能にするセッティングをおこないます。アプリケーションを起動し、下記の手順で設定をおこなってください。

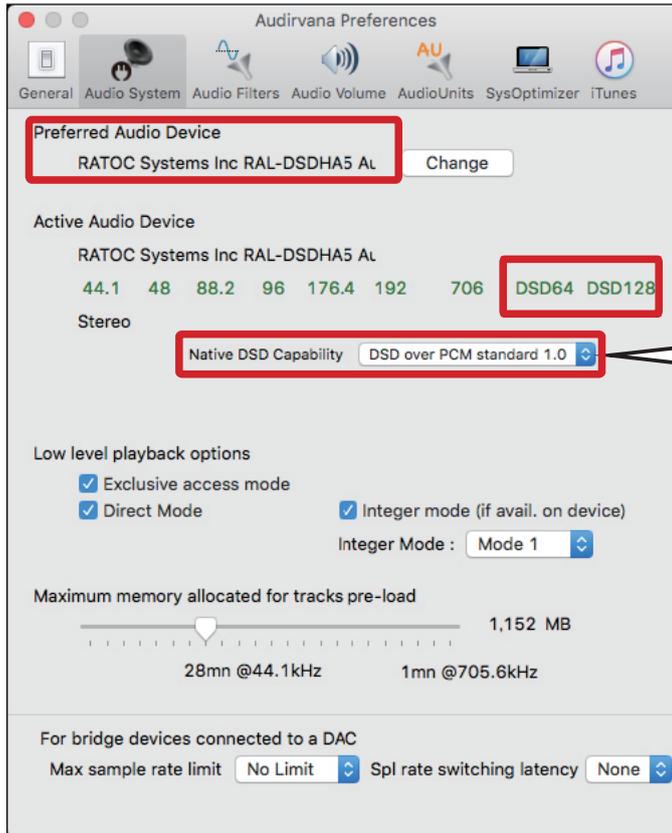
1. 【Audirvana Plus】 ⇒ 【Preferences】 をクリックし、設定画面を開きます。【Audio System】 タブをクリックし、“Preferred Audio Device” 内の【Change】 をクリックします。



2. “Select the new preferred device” を “RATOC Systems Inc RAL-DSDHA5 Audio Out” に設定し、【Select】 をクリックします。

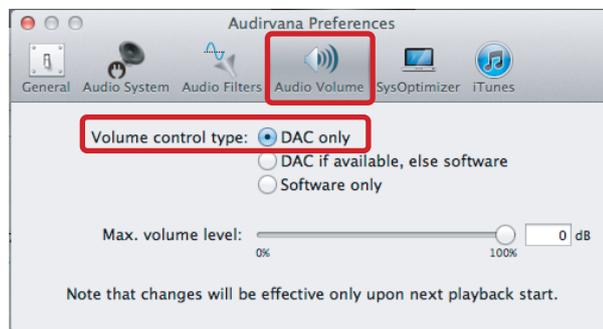


3. “Preferred Audio Device” に “RATOC Systems Inc RAL-DSDHA5 Audio Out” が設定されていることを確認します。また、“Active Audio Device” のサンプルレート及びDSD表記が緑色になっていることを確認します。(接続する製品により、緑色で表記される項目が異なります。)



“Native DSD Capability” が “DSD over PCM Standard 1.0” に設定されていることを確認します。

4. 【Audio Volume】タブをクリックし、“Volume control type”が“DAC only”または“Software only”になっていることを確認します。



以上で設定は完了です。プレイリスト内のお好みのDSD音源を再生してください。

※DSD音源を再生する場合、“Volume control type”が“DAC only”に設定されている場合、Audirvana Plusのボリュームは最大(0dB)に設定してください。音量が最大ではない場合、無音となります。“Software only”に設定されている場合、Audirvana Plusのボリュームは無効になります。

音楽再生時のLEDの点灯について

緑に点灯：	PCM 44/48/88/96/176/192/384	-	USB					
	44	48	88	96	176	192	384	USB
	●	●	●	●	●	●	●	●
	DSD64	DSD128	DSD256	352	OPT			
赤に点灯：	DSD64/128/256	PCM 352	-	OPT				

音楽を再生したとき、USBのLED(緑)が点灯していることをご確認ください。サンプルレートを示すLEDの点灯は左記のとおりです。

